

よくある
皮膚のトラブル。
その原因は様々です。



皮膚症状に関連する主な検査

皮膚症状に関連する主な検査

皮膚症状の原因を特定するには、病歴の詳しい聴取や視診が基本となります。それに加えて個々の症状に応じて検査を実施します。

アレルギー検査

アレルギーやアトピーの原因となるアレルゲンには、環境中のダニやノミ、植物、食物タンパクなど様々な種類があります。何らかのアレルゲンに過剰に反応しているのかを調べたり、アレルゲンを特定したい場合には、血中のアレルゲン特異的IgEを測定することが一般的です。また食物に対するアレルギーが疑われる場合は、原因と疑われる食物を除去する食物除去試験なども実施されます。

感染症の検査

患部の皮膚や毛を採取して、顕微鏡で寄生虫や真菌などを検出したり、患部から採取した材料中の細菌や真菌を培養して確認することが一般的です。

その他の検査

遺伝性の疾患や自己免疫性の疾患が疑われる場合など、必要に応じて皮膚を採取して病理検査を行うこともあります。内分泌疾患が疑われる場合は、主に血液検査を実施します。

確定診断がついたときには？

- 原因によって治療は異なります。感染症の場合は主に薬による治療、アレルギーの場合は食事療法や薬による治療が一般的です。内分泌疾患や腫瘍の場合は原因疾患の治療が中心となります。
- 長期間の治療が必要となる場合も多く、いずれの場合も獣医師と十分相談のうえ根気よく対処しましょう。



皮膚症状の原因には何がありますか？

- 細菌や真菌、ダニなどの寄生虫による感染症、アレルギーやアトピー、内分泌疾患、腫瘍など原因は多岐にわたります。症状もかゆみがあるものから、脱毛やふけなど様々です。
- 個々の症状や経過を確認し、必要に応じて、可能性が高いと考えられる原因の検査から進めていくのが一般的です。皮膚の症状は体の他の部分に原因があって発症する場合も多いため、総合的な診断が重要となります。